



千葉工業大学

学生生活アンケート
集計報告【大学院】

2022 年度

-  **トピックス**
-  **集計結果**

2023 年 3 月

学生委員会

1. 大学院進学を決めた時期と試験種・成績の関係

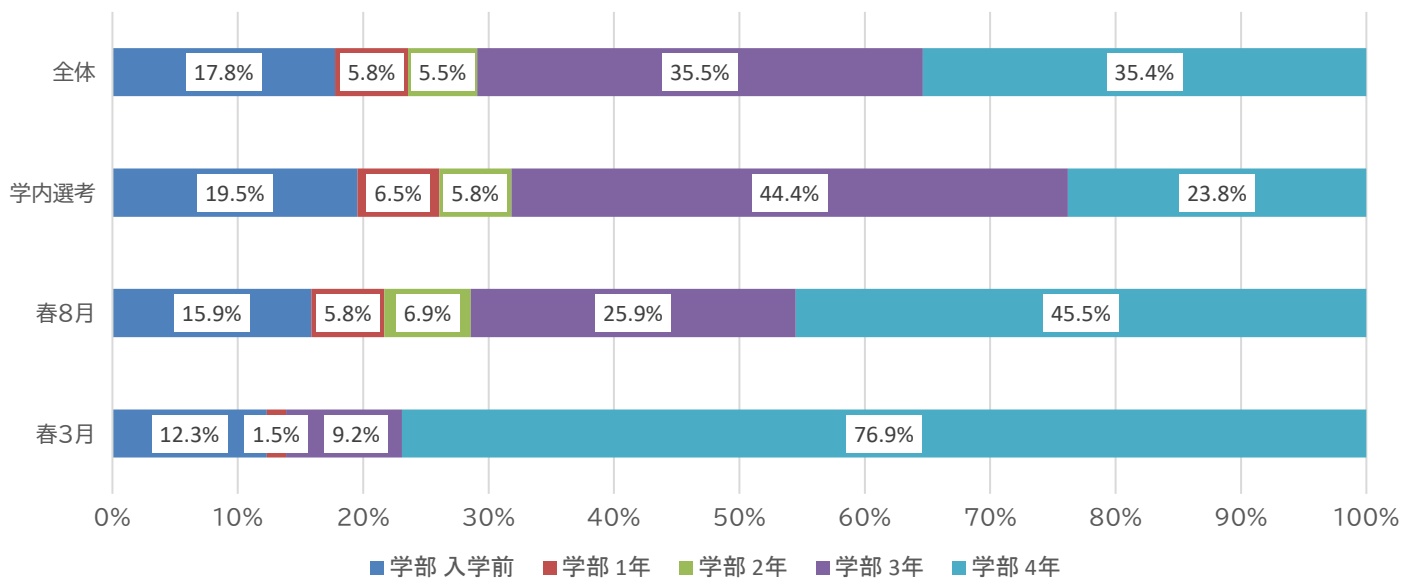
進学を決めた時期データと入学試験種別・学部時GPA関連データ

[所見]
このレポートでは、学部生が大学院進学を決めた時期と入学試験種別との相関を検証している。学内における大学院進学啓発活動を効果的に実施するためには、進学決定時期と試験種の傾向を把握することが必要と考える。まず、全体的な傾向としては、研究室配属の3年次、4年次が主な決定時期となることには変化はない。専門分野を深く学ぶことで進学意欲が高まる傾向が確認できる。一方で、入学前から大学院進学を視野に入れている学生も年度を追うごとに上昇しており、そのような優秀な学生には、新制度となる学部の短期卒業制度も活用して、円滑なエリート育成を推進していくことも効果的であると考えられる。

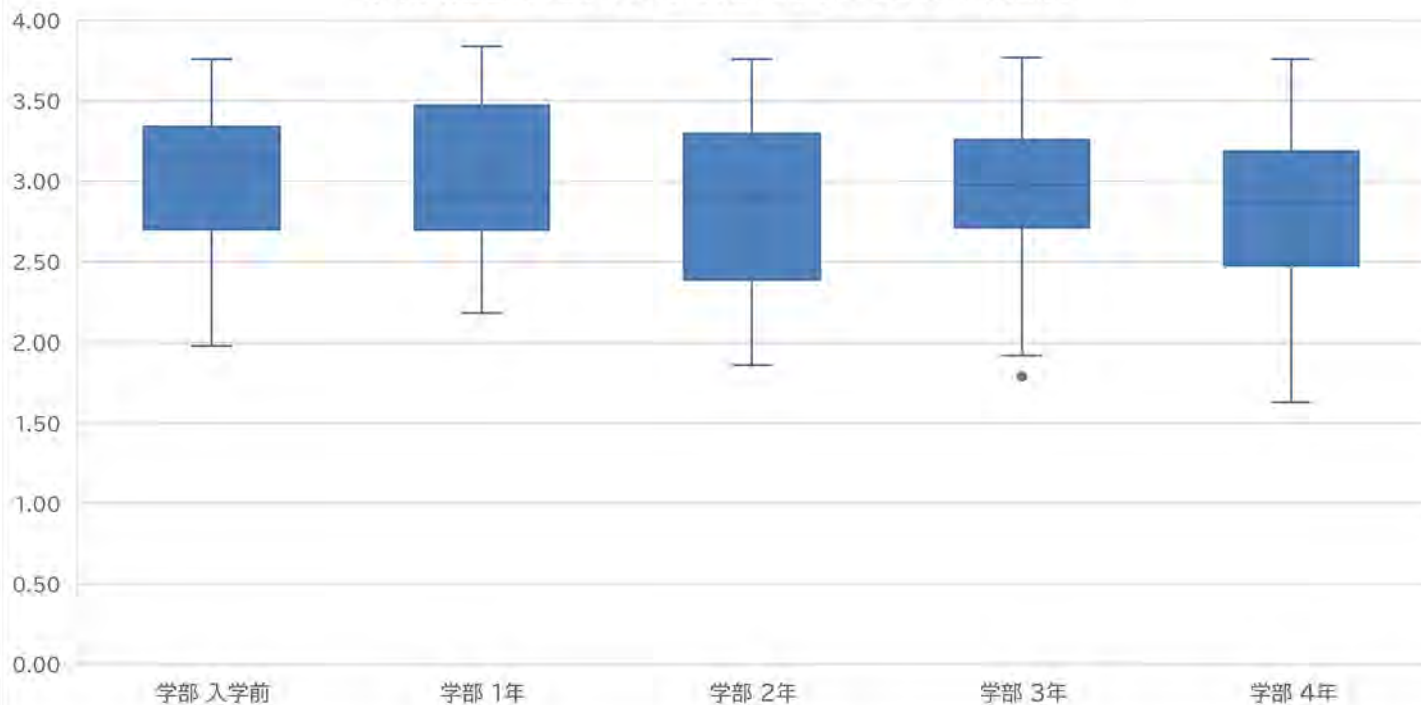
次に試験種としては、進学決定が学年の後半になるほど、試験種も遅くなっているため、特に3年次での進学啓発と早期入学試験への誘導が重要である。

次に学部時GPA値との相関では、いずれの進学決定時期においてもトップ層の値では概ね差異が見られなかった。但し、ボトム層については、これまで進学決定時期が後になるにつれて差異が大きくなる傾向となっていたが、3・4年次では差異が小さくなっているため、比較的、成績の優秀な学生の進学意識を啓発できていると推測される。

大学院進学を決めた時期と入学試験種別の相関関係



大学院進学と決めた時期と学部時GPAの相関



[グラフ&集計方法の解説]

学部時GPA値: 本学学部からの進学者のみが対象で、学部卒業時の成績からGPAを再算出した値

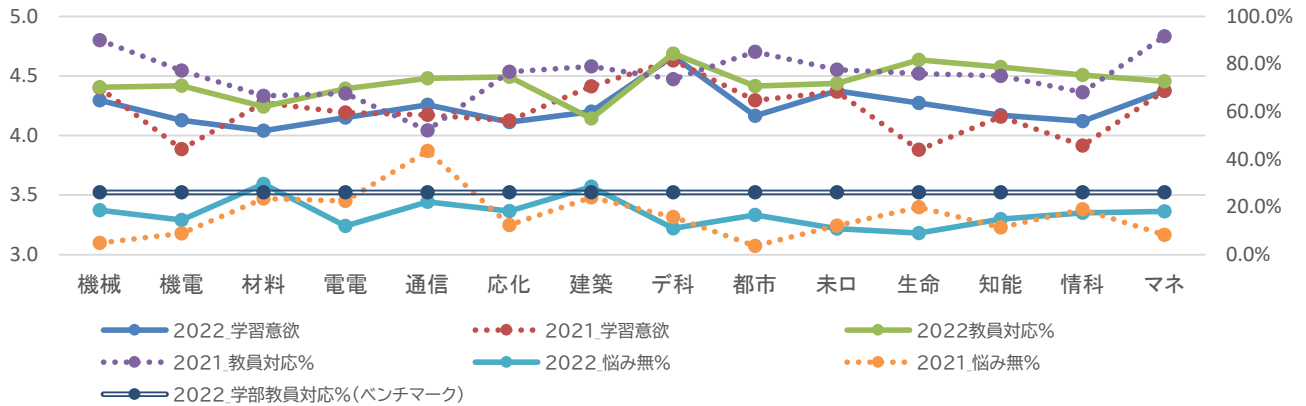
2. 学生の学習意欲と教員との関係性

教員への相談・学科満足度・学習意欲の統合データ

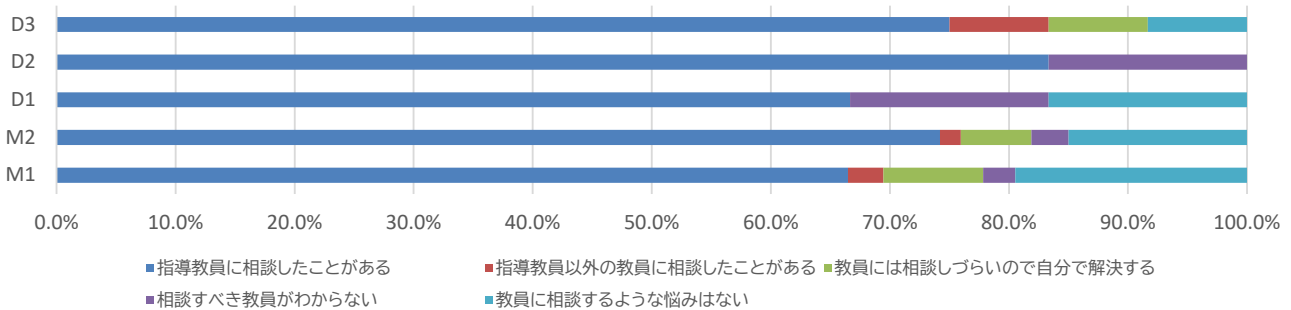
[所見]

大学院では指導教員との密接な関係が構築されており、学部教育対応(ベンチマーク)と比較しても圧倒的に教員の対応が高い値となっている。また、総じて「悩みは無い」と回答した割合の多い専攻ほど教員への相談率は低く、「悩みは無い」と回答した割合の少ない専攻ほど教員への相談率は高くなっているため、概ね指導教員との良好な関係性が確認できる。一方で、これらと学習意欲との相関関係は特に見られず、研究室の指導教員との関係と学修意欲は直接的に関連していないと思われる。少数ではあるが「教員には相談しづらいので自分で解決する」と回答した学生が概ねの専攻で存在するため、指導教員だけでなく、複数の教員間で支援できる環境も必要であると考えられる。

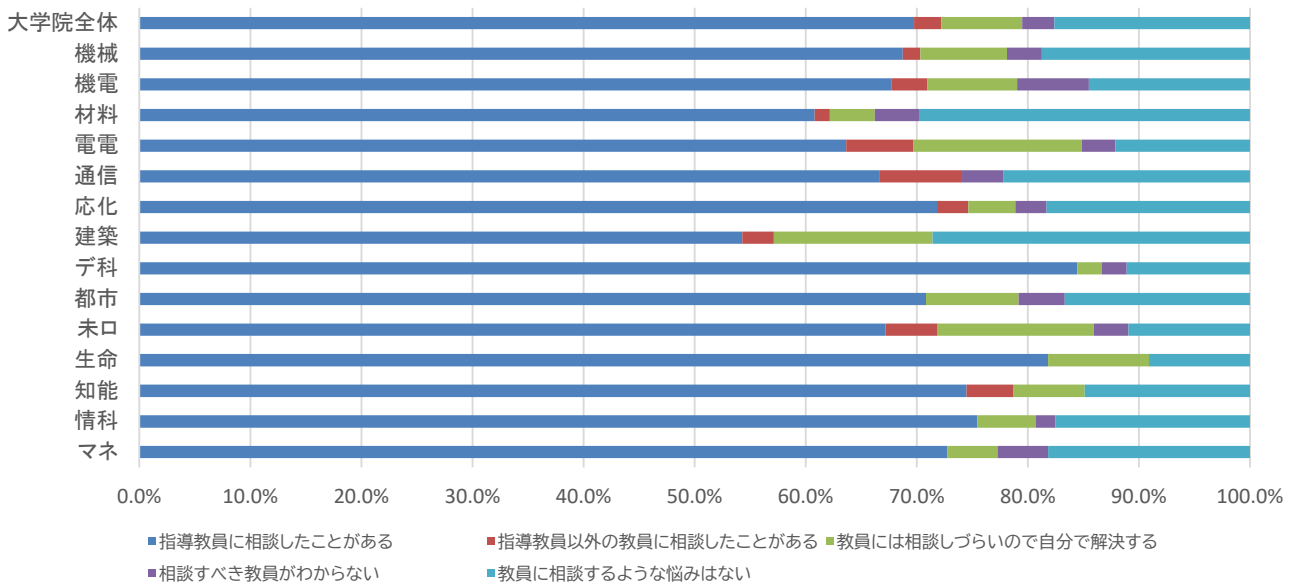
専攻別 教員担当と学習意欲の状況



学年別 相談状況



専攻別 相談状況(修士課程のみ)



[グラフ&集計方法の解説]

学習意欲⇒Q6で得た回答を数値化したうえで、平均値を算出する。教員対応⇒Q13の回答1(指導教員に相談したことがある)または2(指導教員以外の教員に相談したことがある)と回答した割合を算出する。悩み無⇒Q13の回答5(教員に相談するような悩みがない)と回答した割合を算出する。

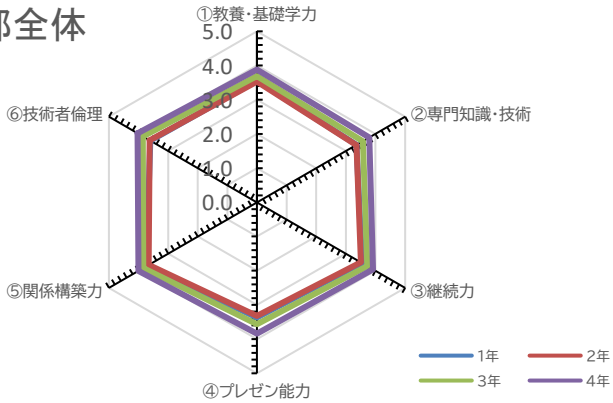
※Q6の回答 1⇒5点 2⇒4点 3⇒3点 4⇒2点 5⇒1点 に置き換えて集計

3. 各種能力の自己評価

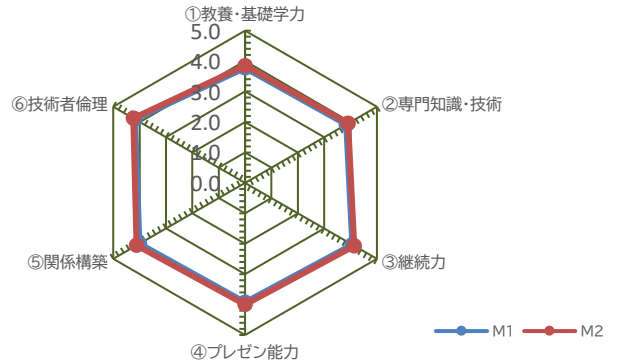
教養/基礎学力・専門知識・研究活動力・プレゼン・協力・倫理観の自己評価統合データ

[所見]
 まず学年別で見た大学院全体の能力値では、やはり修士2年次の値が僅かに高く評価されている。また、学部全体平均との比較でも大学院の値は高く評価されており、大学院教育の成果が確認できる。但し、学部4年次の平均値とは僅差であるため、高度な学修と研究活動を継続的に行うことによる「技術者倫理」や「継続力」の項目の上昇から成長度を実感していると考えられる。

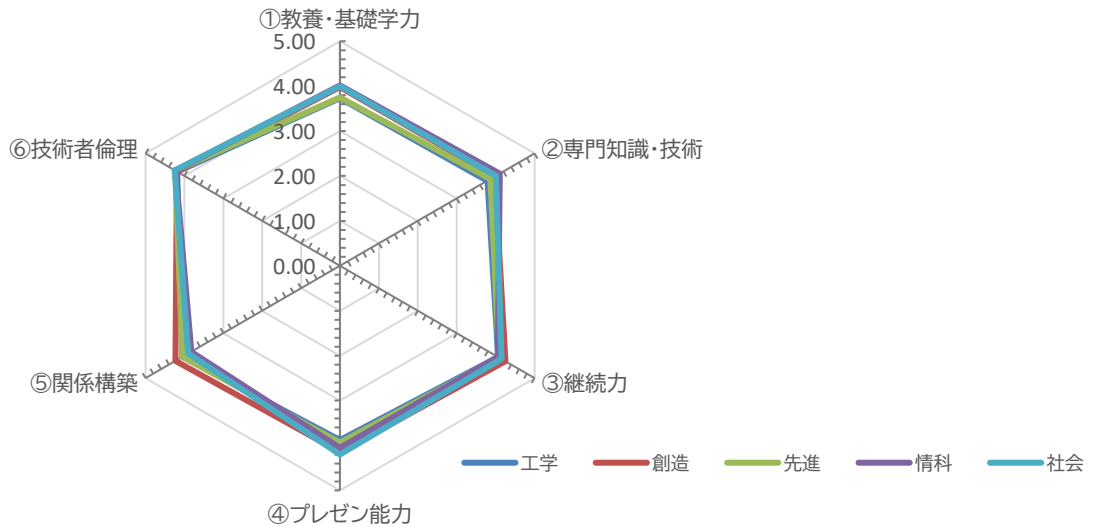
学部全体



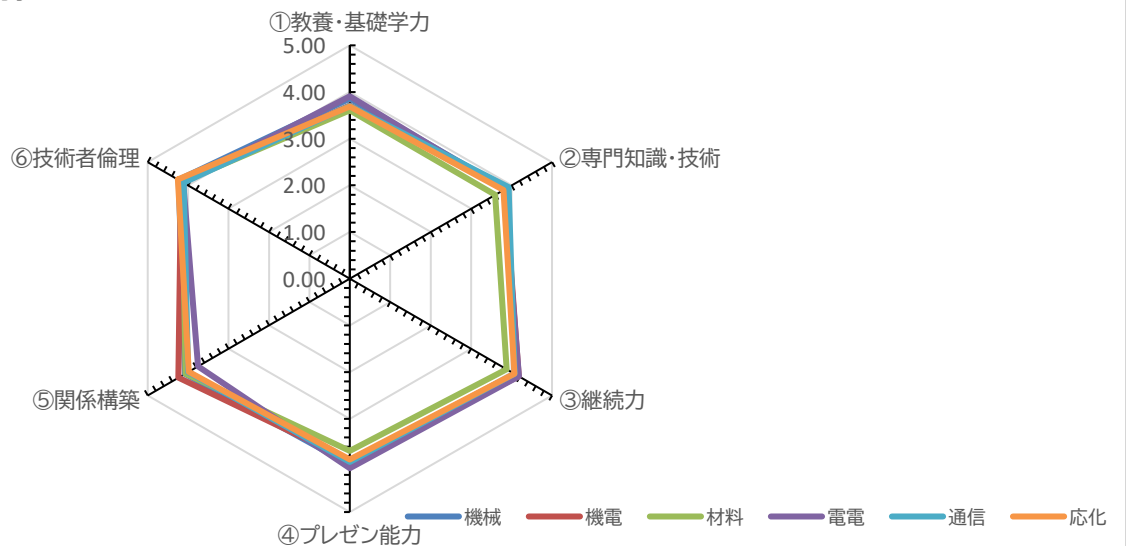
大学院全体



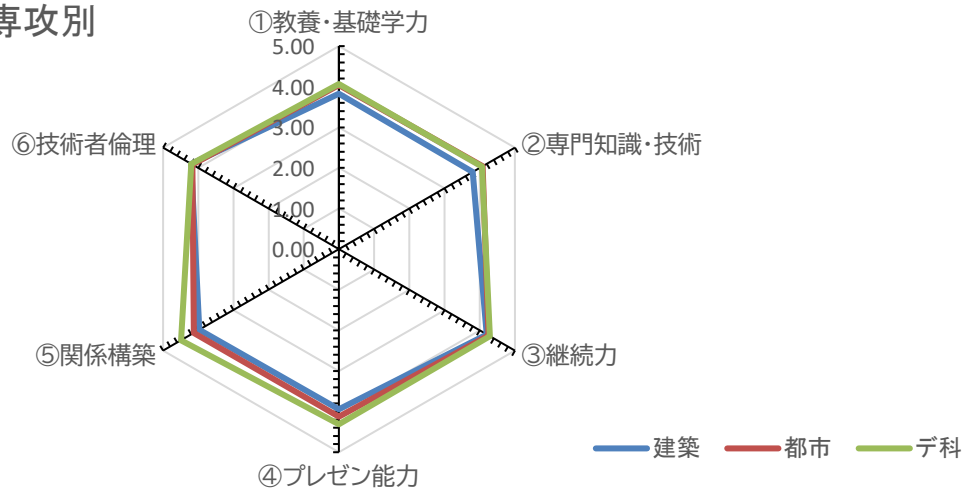
研究科別



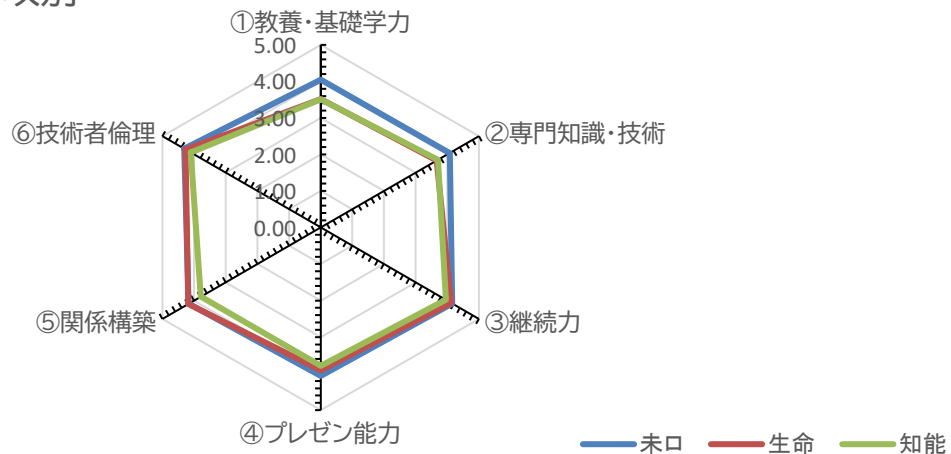
工学研究科専攻別



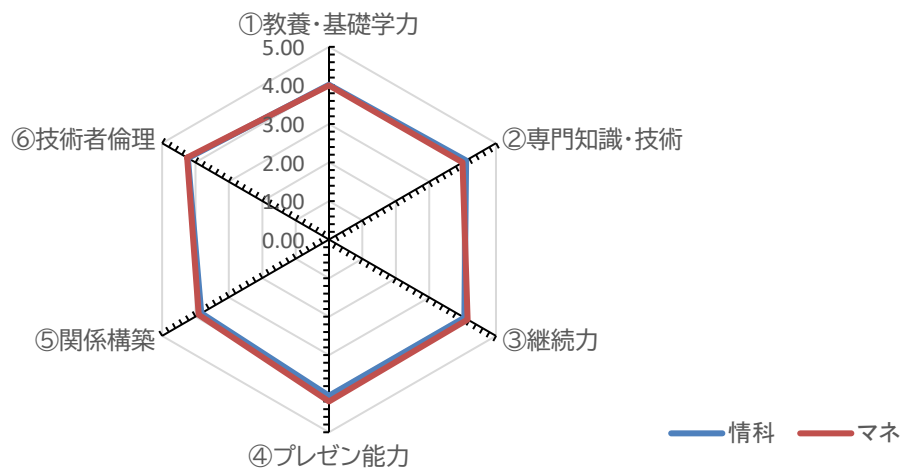
創造工学研究科専攻別



先進工学研究科専攻別



情報科学研究科・社会システム科学研究科各専攻



[グラフ&集計方法の解説]

以下の6つの要素がどの程度身についていると感じているか?の回答を数値化し平均値をグラフ化

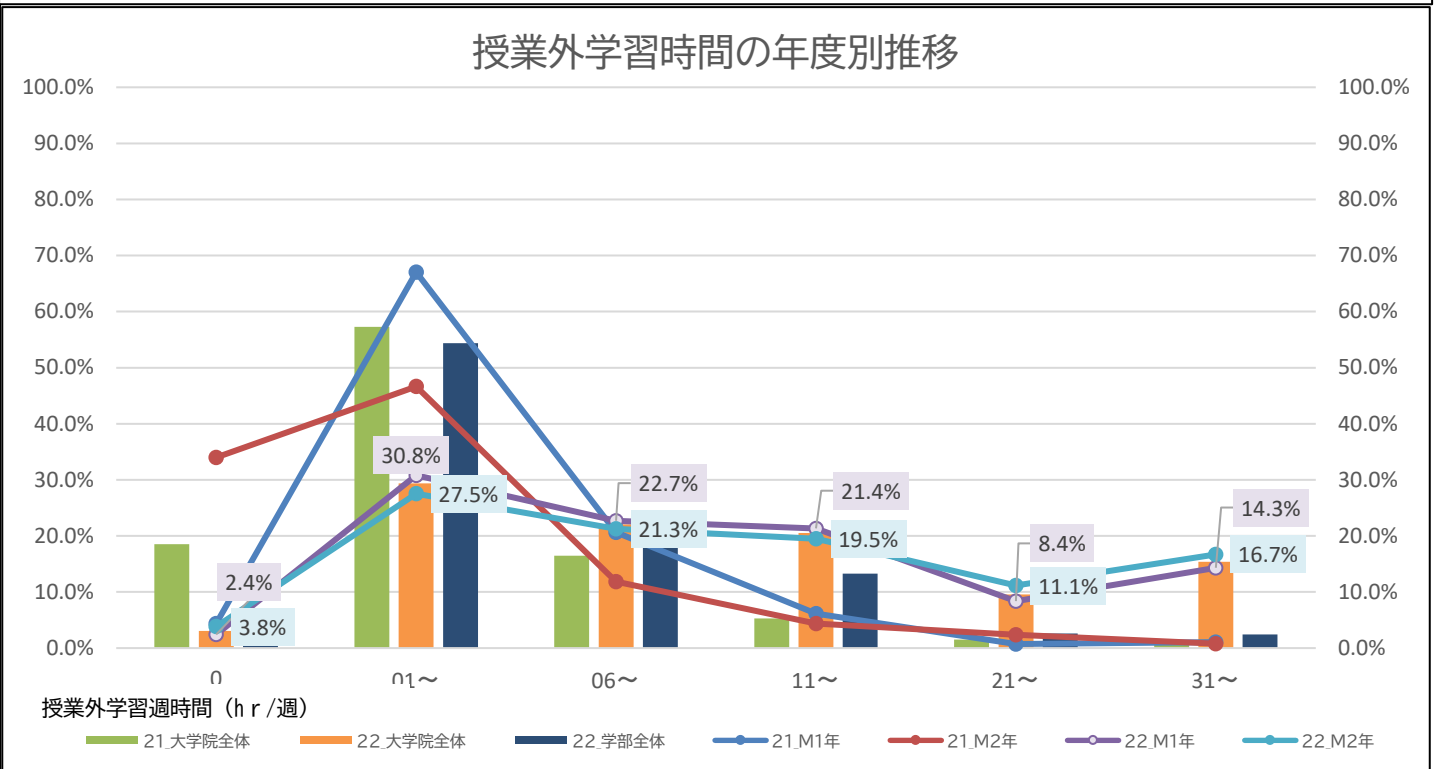
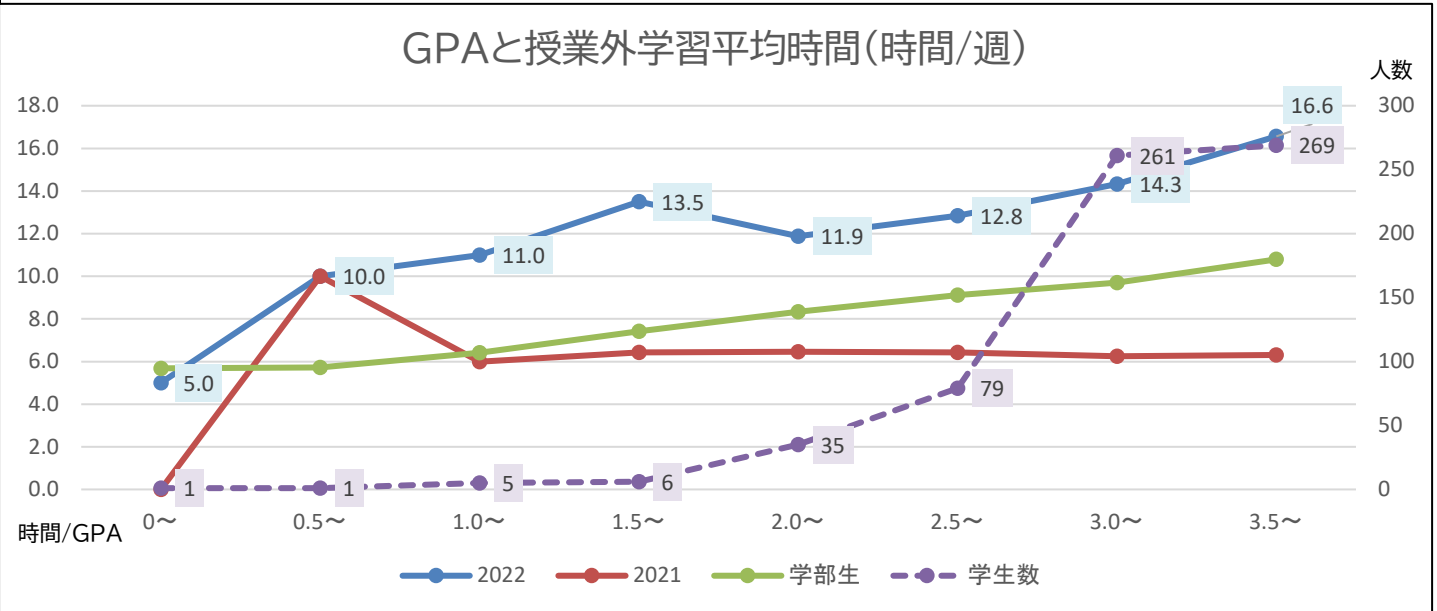
- ①教養・人間力⇒Q16【将来の職業に関連する高度な知識・技能】
- ②専門知識・技術⇒Q17【専門分野における高度な知識や技能】
- ③継続力⇒Q18【自ら考え行動する研究活動能力】
- ④プレゼン⇒Q19【自分の考えを伝えて相手の理解を得るプレゼン能力】
- ⑤関係構築力⇒Q20【共同作業を通して他者と協力関係を作り上げる能力】
- ⑥技術者倫理:Q21【技術者として持つべき倫理観】

回答 1⇒5点 2⇒4点 3⇒3点 4⇒2点 5⇒1点 に置き換えて集計

4. 授業外学習の状況

授業外学習(予習・復習・研究活動時間など)時間データ及びGPA関連・年度別推移

[所見]
 授業外の学習時間調査では、これまでの設問内容が曖昧であり、学生の回答にも個人差が生じていると想定されたため、2022年度からは、設問の時間数を予習・復習・課題の実施・研究活動時間に限定して調査を行った。その結果、大学院生の授業外学習時間は、大幅に上昇している。大学院における研究活動時間なども含まれるようになり、調査自体の改善に繋がったと考えられる。
 GPA値との相関では、GPA値の一定範囲内(0.5から1.0)では授業外の学習時間数に大きな差異は見られないが、GPA1.5を超える層では、概ね平均的な授業外学習時間が取られており、GPAが高いほど授業外学習時間は多くなっているため、大学院での学習意欲は成績評価との関連が高いと想定される。特に大学院教育では、研究成果を挙げるための活動に多く時間を費やすと考えられるので、授業13週の取組みを有効的に活用し、授業以外の期間における自己研鑽の機会提供などを更に推進する工夫も重要と考えられる。



[グラフ&集計方法の解説]
 GPAとの相関グラフは、授業外学習⇒Q22で回答した時間/週の平均を主軸、学生数(アンケート回答数)を2軸としてグラフ化した。
 GPA: 大学院での成績から暫定的に算出した値(講究、特別研究と認定単位を除き、学部の計算式に準じて算出)

5. フルオンライン授業に対する学生からの評価

オンライン授業の評価データ及びGPA相関

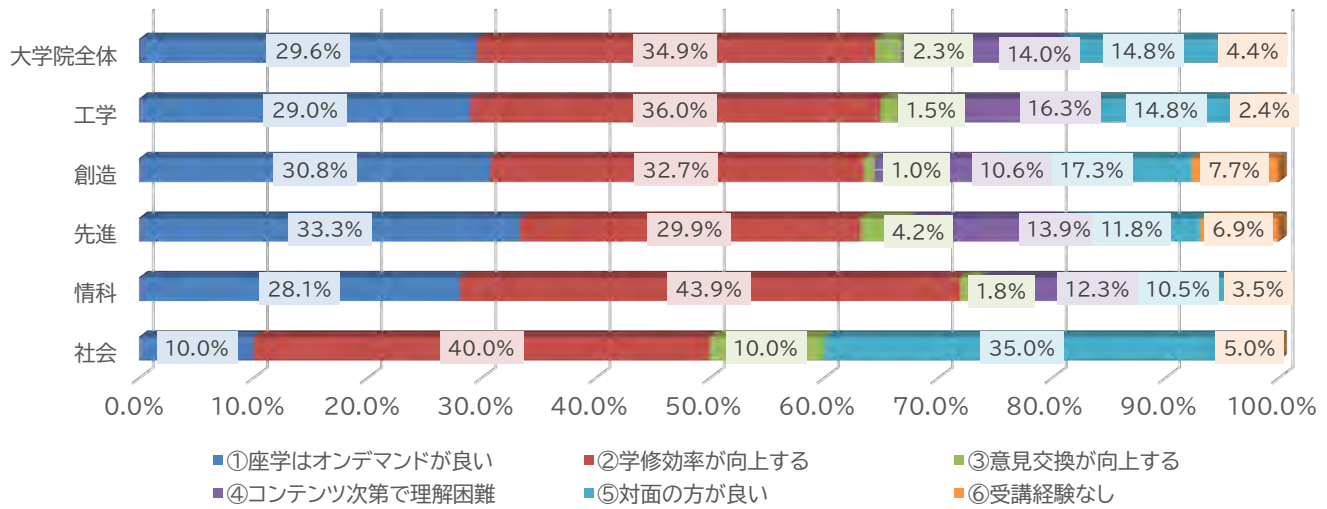
[所見]

オンライン授業は、2020年度のコロナ禍以降、授業開講を継続するための特別措置として開講してきた。今後、大学院としてオンライン授業の恒常的な活用も考える必要があるため、学生がこれまでの特別措置で受講してきたオンライン授業の評価を分析した。

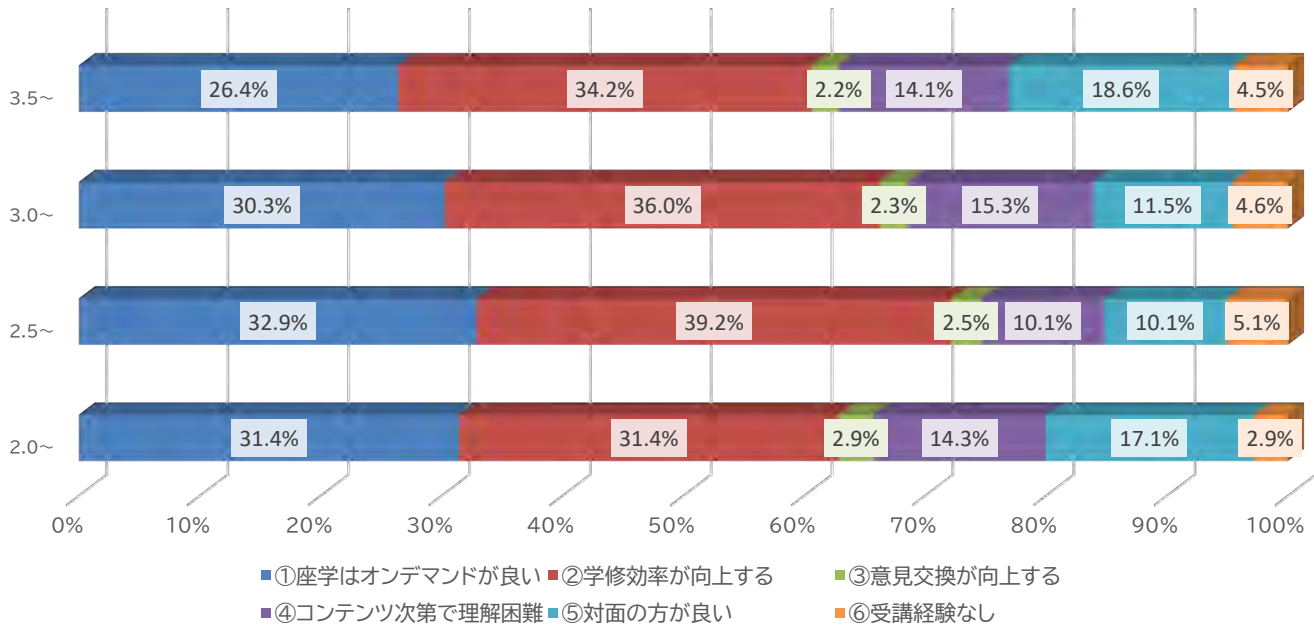
大学院全体としては、特別措置によるオンライン授業であっても、教育的なメリットを感じている割合が非常に高くなっている。大学院学生は、研究室配属が前提となり、入学段階からオンラインでの学修環境や学修体制が整っているため、特にオンライン活用の抵抗も少なく、一定の教育効果があると考えられる。

また、GPA値との相関では、2.0-3.0の区間層で、オンライン授業に対するポジティブな評価が高くなっているが、成績上位層(3.5以上)では、対面授業への評価が高くなっている。大学院の授業設計では、知識や技術の修得に限らず、学生同士の意見交換や協働作業などの要素が多くなる。そのため、一般的な授業科目であってもオンラインだけでは対応できない対面授業本来の効果があることを示していると言える。恒常的な利用を考えるにあたっては、適切な授業選別と開講数の調整が重要であると考えられる。

研究科別 オンライン授業の評価



オンライン授業の評価とGPAの相関関係



[グラフ&集計方法の解説]

GPA: 大学院での成績から暫定的に算出した値(講究、特別研究と認定単位を除き、学部での計算式に準じて算出)
 ※相関関係のグラフでは、少数人となるGPA区分の数値は偏りが大きいため、検証では2.0以上とする。

6.奨学金の利用者とアルバイト状況の関係性

令和4年度及び令和3年度における奨学金利用者及びアルバイト状況の関係性を検証

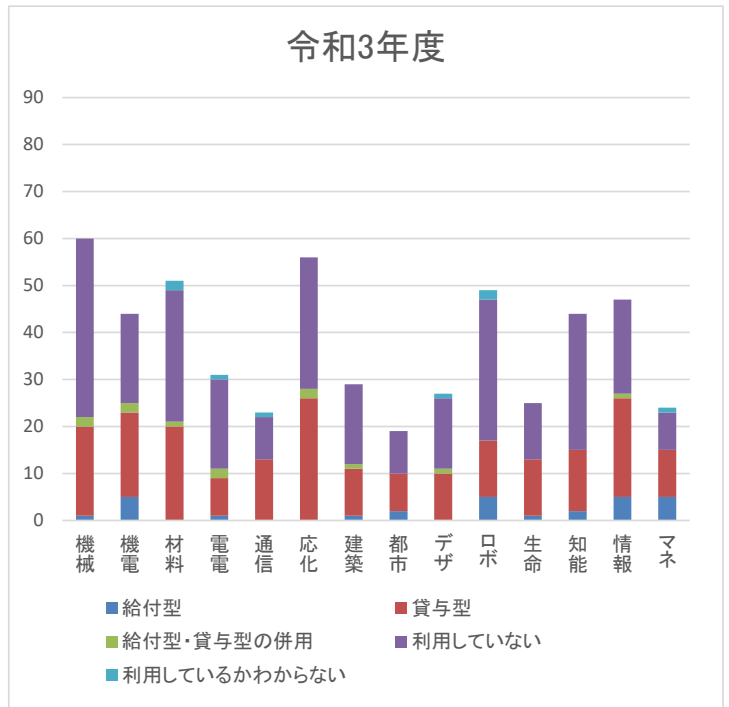
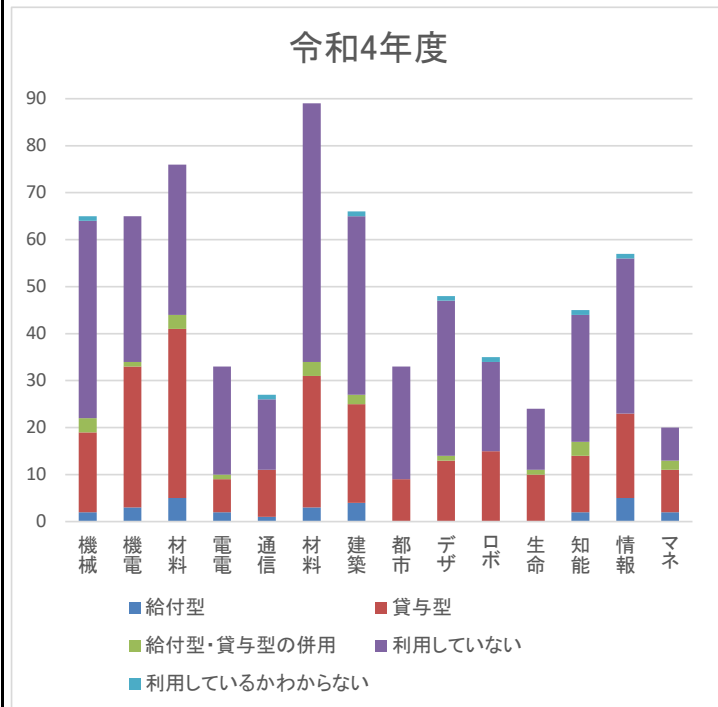
[所見]

今年度の奨学金の利用者は、昨年度に比べて全体で44名増加した。アルバイトを実施している学生も昨年と比べて125名増加している。

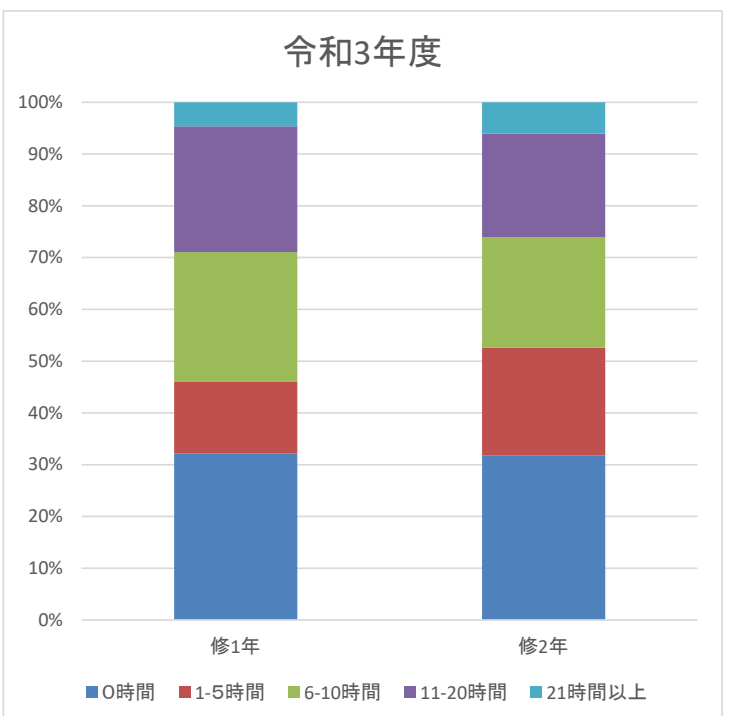
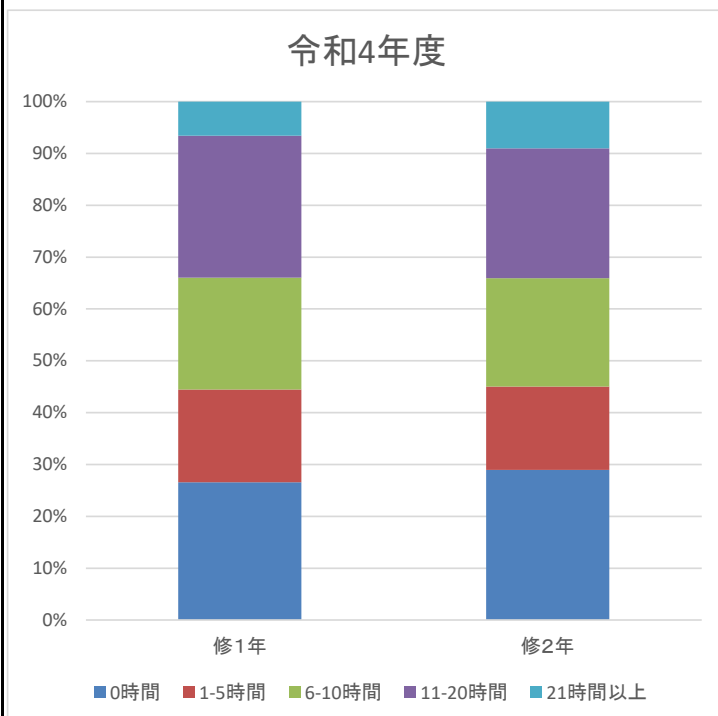
また、奨学金利用者の中でアルバイトを実施している学生は全体で216名(昨年175名)おり、昨年と比べて41名増加している。内訳としては、給付変更なし、貸与36名増、併用5名増と貸与型奨学金の利用者が増加している傾向が見られた。大学院においては日本学生支援機構の給付型奨学金がなく自治体等の奨学金が対象となるため、貸与型の利用者が顕著に増加していることが考えられる。

また、コロナ禍となってから3年目となるが、これらのことも考慮すると未だに生計維持者の収入等が安定しないこともあり、学生自身がアルバイトにより学費等の工面をしている可能性が考えられる。今後は、学生にできるだけ多くの奨学金情報を提供できるようにする等、支援を強化する。

■ Q30.奨学金を利用していますか



■ Q24.授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間はどのくらいですか。③アルバイト/定職



[グラフ&集計方法の解説]

特になし

7.修了後の進路希望

令和4年度在学生における修了後の進路希望

[所見]

修了後の進路について、どのような企業選びの志向があるかについて、検証を行った。
 9割以上の学生が明確なキャリアの目標を持っていることが見て取れる。特に、大手・上場企業を希望する学生が約6割いることから、大手・上場志望者向けの支援を行うことが重要であると考えられる。
 創造工学研究科のみ、他研究科に比べて、大手・上場企業を志望する割合が10ポイント低く、ベンチャー企業や、その他と回答する学生が多かった。
 業種については、各研究科の特性が現れた結果となった。学んだことを活かすことを考える学生が多く、専攻と繋がる大手・上場企業との結びつきを増やすことで、学生の希望を満たすことに繋がると考える。

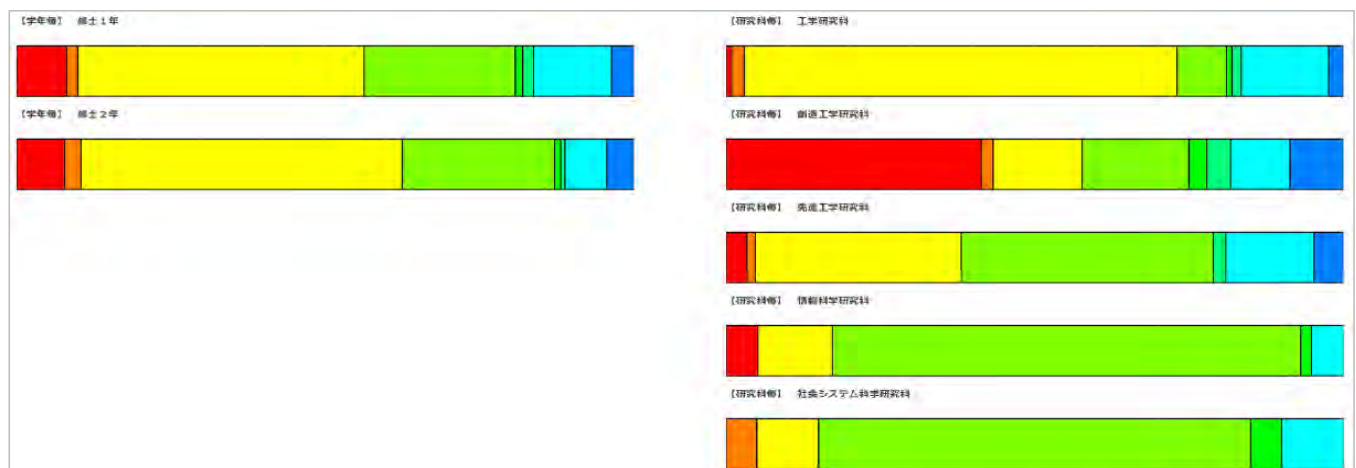
■Q39.修了後の進路（企業規模等）について伺います。修了後の進路をどのように考えていますか。 （博士後期課程への進学を希望する方は、博士後期課程の修了後を意識してお答えください。）

- 1 大手・上場企業への就職を考えている
 ■ 2 中小企業への就職を考えている
 ■ 3 外資系企業への就職を考えている
 ■ 4 ベンチャー企業への就職を考えている
■ 5 公務員・教員への就職を考えている。
 ■ 6 起業を考えている。
 ■ 7 その他



■Q40.修了後の進路（企業）について伺います。修了後の進路をどのように考えていますか。

- 1 建設業
 ■ 2 設備業
 ■ 3 メーカー
 ■ 4 IT
 ■ 5 サービス業
 ■ 6 公務員・教員
 ■ 7 まだわからない
 ■ 8 その他



[グラフ&集計方法の解説]

特になし

8.大学院入学後に取得した資格

令和4年度在学生における取得した資格の調査

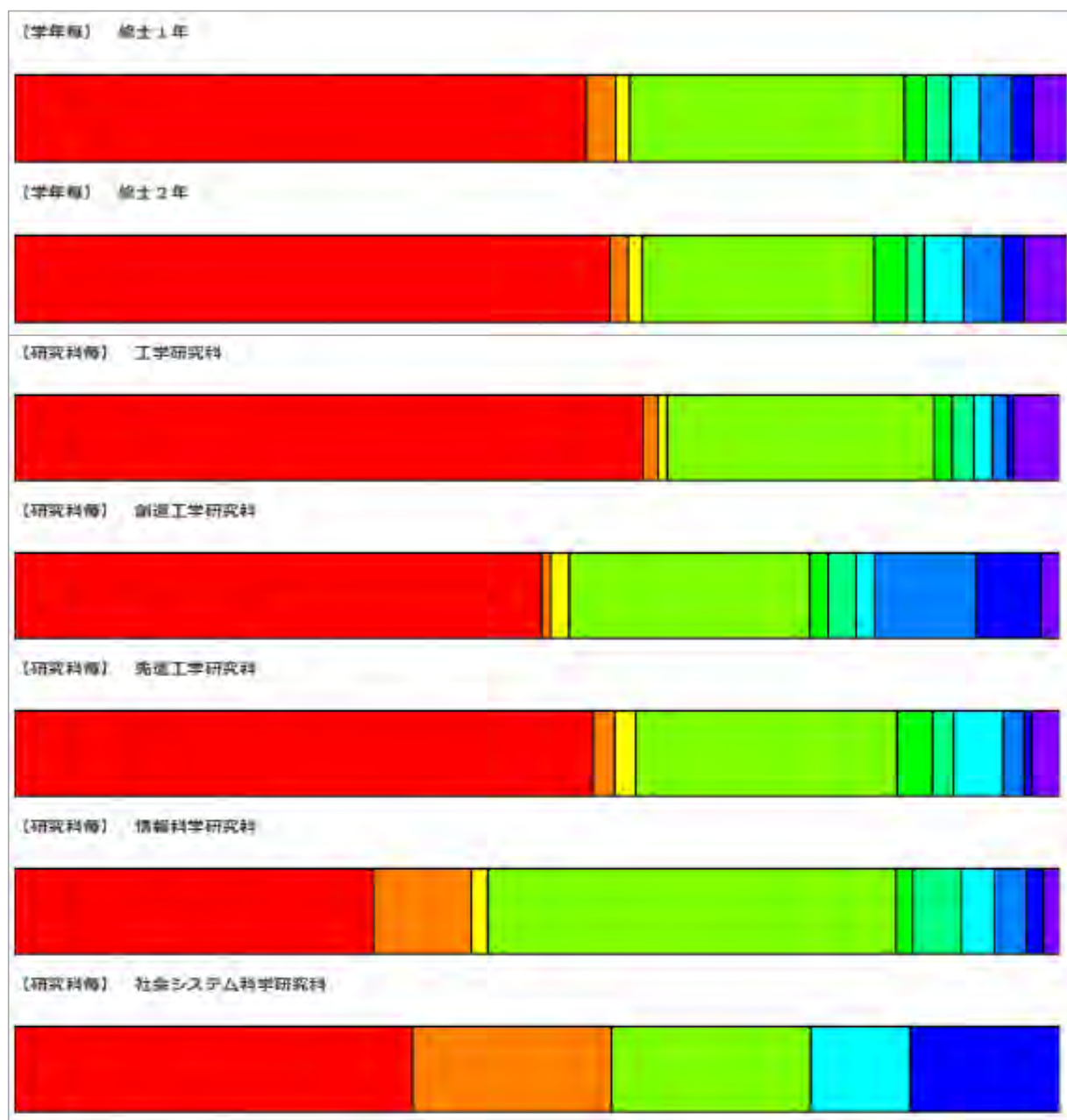
取得した資格については、自動車免許のほかに、解答者の約25%が「TOEICスコア450以上」を取得した結果となった。

TOEIC450以上の取得は、情報科学研究科の取得割合が高く、社会システム科学研究科の取得割合が低い結果となった。

社会システム科学研究科は、ITパスポートや、基本情報技術者、CAPMの取得割合が高く、様々な分野への資格取得への意欲があると考えられる。

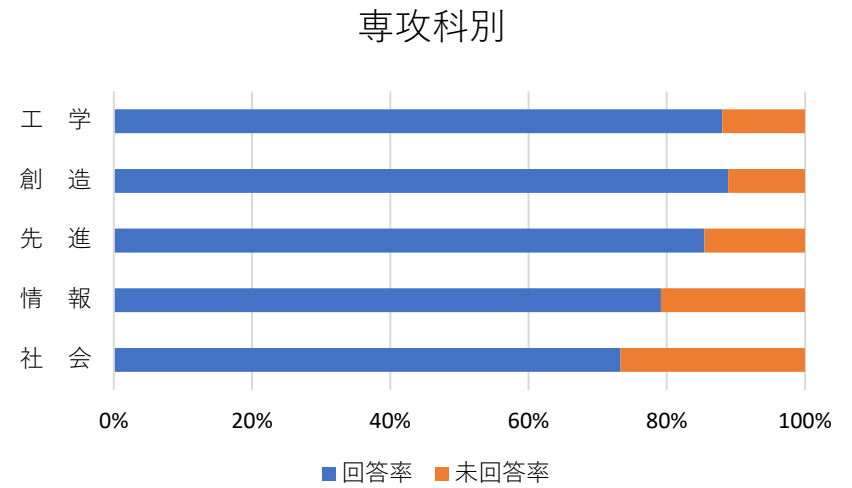
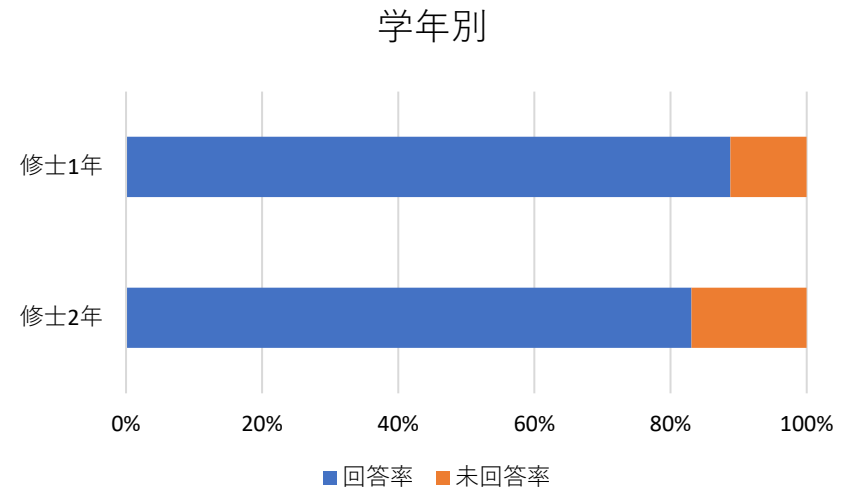
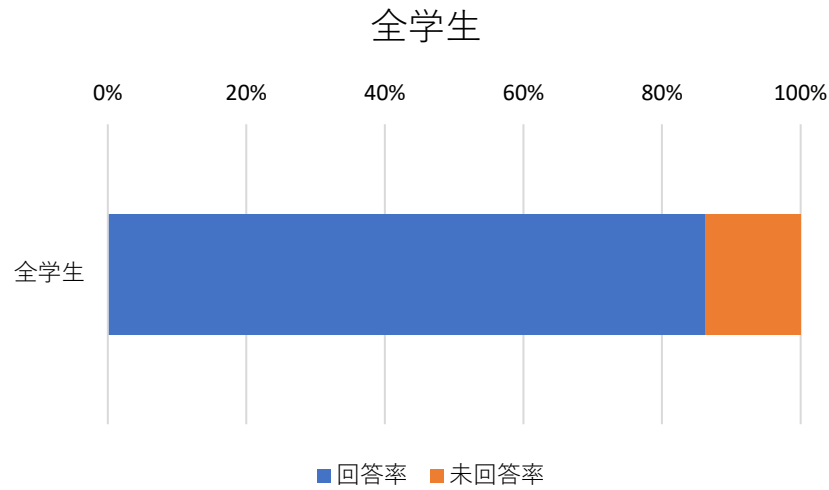
■Q43.大学院入学後に取得した資格・検定はありますか。（複数回答可）

- | | | | | |
|---|---|---|---|--|
| ■ 1 自動車免許 | ■ 2 ITパスポート | ■ 3 FP(ファイナンシャルプランナー) | ■ 4 TOEICスコア450以上 | ■ 5 知的財産管理技能士 |
| ■ 6 英検準2級以上 | ■ 7 基本情報技術者 | ■ 8 色彩検定 | ■ 9 CAPM | ■ 10 危険物取扱者 |



[グラフ&集計方法の解説]
特になし

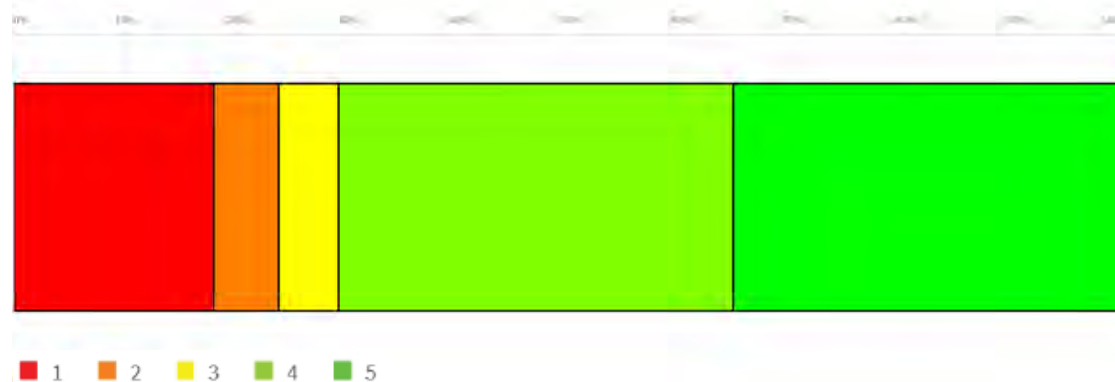
大学院修士課程 回答率（全学生・学年別・研究科別）



問01 大学院進学を決めた時期は、いつごろですか。

q	回答選択肢
1	学部入学前から決めていた
2	学部1年次の時
3	学部2年次の時
4	学部3年次の時
5	学部4年次の時

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問02 大学院進学を決めた、理由は何ですか。

Q	回答選択肢
1	興味のある分野があるから
2	将来、研究職・開発職を目指しているから
3	進学することが当たり前と思っているから
4	何となく（漠然と）進学することが有利と思っているから
5	特に理由はない
6	その他

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問03 在籍している専攻について、満足している点を教えてください。最も該当するものを選んでください。

▲	Q	回答選択肢
1		興味・関心のある授業、役立つ授業がある
2		将来、研究職・開発職に繋がる内容が学べる
3		専攻内での友人関係
4		学外での活動も多く体験できる
5		満足していることはない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



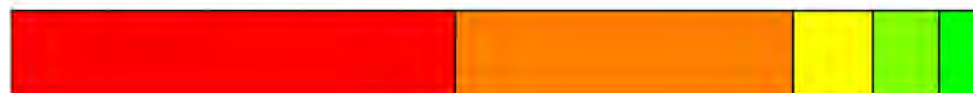
【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科

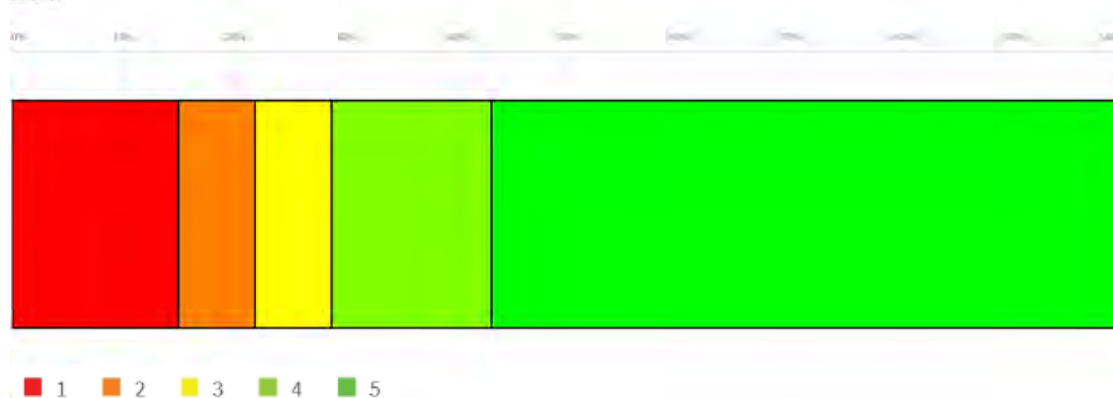


問04 在籍している専攻について、不満に思うことは何ですか。最も該当するものを選んでください。

q 回答選択肢

- 1 興味・関心のある授業、役立つ授業が少ない
- 2 将来、研究職・開発職に繋がる内容が少ない
- 3 専攻内での友人関係
- 4 その他
- 5 大きな不満はない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問05 カリキュラム（教育課程）について、どのように感じていますか。最も該当するものを選んでください。

▲ Q 回答選択肢

- 1 CP（カリキュラム・ポリシー）に沿ったカリキュラムになっている
- 2 CPと実際のカリキュラムに違いがある
- 3 CPや科目の体系をきちんと把握していない

全学生



■ 1 ■ 2 ■ 3

【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問06 授業に対する学習意欲は、どの程度ありますか。

▲	Q	回答選択肢
1		学習意欲がある
2		ある程度学習意欲がある
3		どちらともいえない
4		あまり学習意欲がない
5		学習意欲がない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



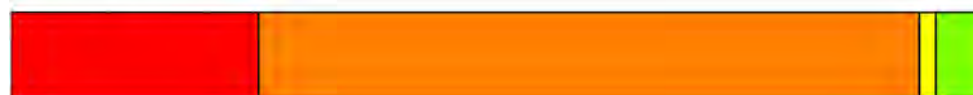
【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問07 これまで本学が開講をして来た全13週オンライン（オンデマンド形式又はライブ配信形式）の授業について、あなたの全体的な感想を教えてください。最も該当するものを選んでください。

回答選択肢
1 座学の授業では、オンラインの方が理解できてよかった
2 自分で学修計画を立てることができ、学修効率があがってよかった
3 オンラインの授業の方が多く発言でき、活発な意見交換があつてよかった
4 コンテンツにもよるがオンラインでは理解が難しかった
5 座学の授業でも質問などのやりとりを考えると対面の方がよかった
6 全てがオンラインの授業を受けたことがない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



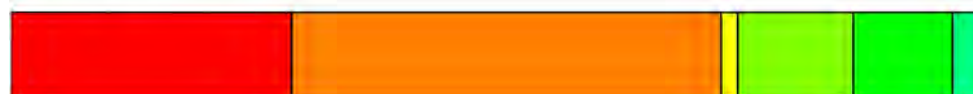
【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



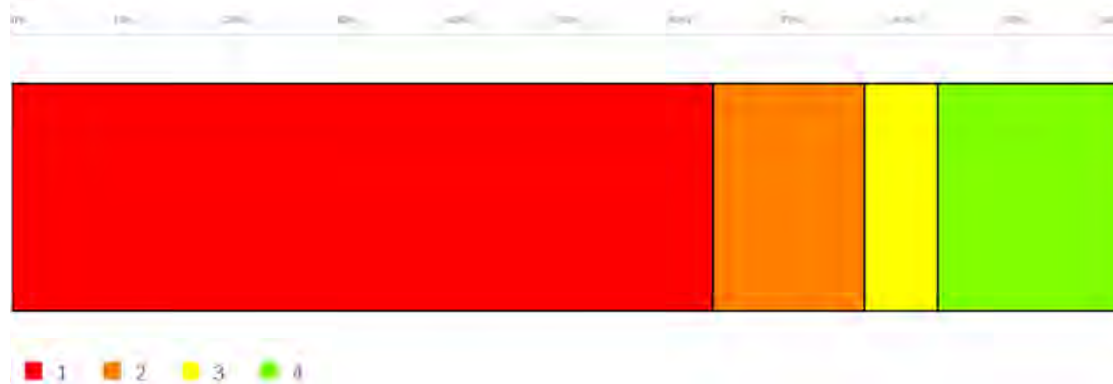
【研究科毎】 社会システム科学研究科



問08 授業のシラバスはどのように活用していますか。最も該当するものを選んでください。

q	回答選択肢
1	履修登録の際に参照している
2	授業開始前に参照している
3	成績評価の方法のみ参照している
4	特に参照していない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問09 大学院には、所属専攻以外の副専攻コースに用意された科目を学修することで、副専攻コース終了証明書を発行する副専攻制度があります。あなたはこの副専攻制度を知っていますか。

回答選択肢
1 知っている
2 知らない
3 知らなかったが、今後利用したい

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問10 学会誌等に掲載された論文は何編ありますか。

q	回答選択肢
1	0編
2	1編
3	2編
4	3編
5	4編
6	5編
9	8編以上

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問11 学会発表（国際会議を含む）を通算で何回行いましたか。

Q	回答選択肢
1	0回
2	1回
3	2回
4	3回
5	4回
6	5回
7	6回
9	8回以上

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問12 大学院修了までに学会発表を何回行う予定ですか。

Q	回答選択肢
1	0回
2	1回
3	2回
4	3回
5	4回
6	5回
7	6回
8	7回
9	8回以上

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問13 大学院入学後に、授業・研究や生活面で教員に相談したことがありますか。

q	回答選択肢
1	指導教員に相談したことがある
2	指導教員以外の教員に相談したことがある
3	教員には相談しづらいので自分で解決する
4	相談すべき教員が分からない
5	教員に相談するような悩みはない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問14 大学からのお知らせについて確認したり、学内の制度などについて問い合わせをする際に最も使用しているツールはどれですか。

q	回答選択肢
1	学内掲示板
2	CITポータル（学生資料室も含む）
3	友人に聞く
4	指導教員や専攻所属の教員に聞く（manaba等オンラインツールを通じての問い合わせも含めま す）
6	窓口で問い合わせる（電話やオンラインでの問い合わせも含む）
7	サークルや研究室の先輩などに聞く

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問16 大学院の教育を受けて、次の要素がどの程度身に付いていると感じますか。①将来の仕事に関連する高度な知識・技能

q	回答選択肢
1	身に付いている
2	ある程度身に付いている
3	どちらともいえない
4	あまり身に付いていない
5	身に付いていない

全学生



【学年毎】 修士1年



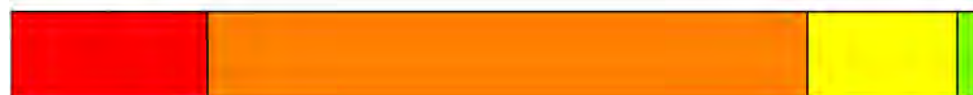
【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問17 大学院の教育を受けて、次の要素がどの程度身に付いていると感じますか。②専門分野における高度な知識や技能

▲	q	回答選択肢
1		身に付いている
2		ある程度身に付いている
3		どちらともいえない
4		あまり身に付いていない
5		身に付いていない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問18 大学院の教育を受けて、次の要素がどの程度身に付いていると感じますか。③自ら考え、行動する研究活動能力

▲ q 回答選択肢

1	身に付いている
2	ある程度身に付いている
3	どちらともいえない
4	あまり身に付いていない
5	身に付いていない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問19 大学院の教育を受けて、次の要素がどの程度身に付いていると感じますか。④自分の考えを伝えて相手の理解を得るプレゼンテーション能力

Q	回答選択肢
1	身に付いている
2	ある程度身に付いている
3	どちらともいえない
4	あまり身に付いていない
5	身に付いていない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問20 大学院の教育を受けて、次の要素がどの程度身に付いていると感じますか⑤共同作業を通して他者と協力関係を作り上げる能力

▲ q	回答選択肢
1	身に付いている
2	ある程度身に付いている
3	どちらともいえない
4	あまり身に付いていない
5	身に付いていない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



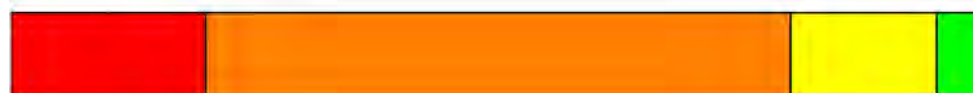
【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問21 大学院の教育を受けて、次の要素がどの程度身に付いていると感じますか。⑥技術者として持つべき倫理観

q	回答選択肢
1	身に付いている
2	ある程度身に付いている
3	どちらともいえない
4	あまり身に付いていない
5	身に付いていない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



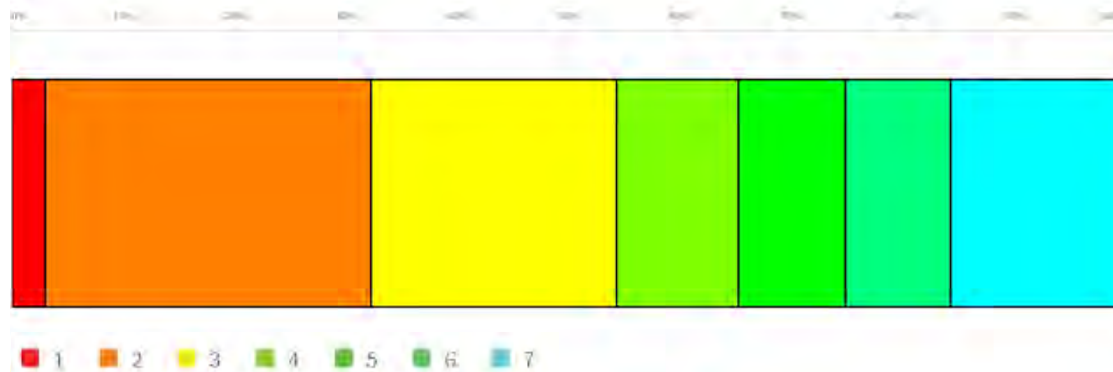
【研究科毎】 社会システム科学研究科



問22 授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間はどのくらいですか。①授業時間以外の学修時間（授業で出された課題や授業の予習・復習、研究室での活動に関する学修の時間です。）

Q	回答選択肢
1	0時間
2	1-5時間
3	6-10時間
4	11-15時間
5	16-20時間
6	21-30時間
7	31時間以上

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問23 授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間はどのくらいですか。②部活動/サークル活動

▲	q	回答選択肢
1		0時間
2		1-5時間
3		6-10時間
4		11-15時間
5		16-20時間
6		21-30時間

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問24 授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間はどのくらいですか。③アルバイト/定職

Q	回答選択肢
1	0時間
2	1-5時間
3	6-10時間
4	11-15時間
5	16-20時間
6	21-30時間
7	31時間以上

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問26 授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間はどのくらいですか。⑤趣味/娯楽/交友

▲	q	回答選択肢
1		0時間
2		1-5時間
3		6-10時間
4		11-20時間
5		21-30時間
6		31時間以上

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



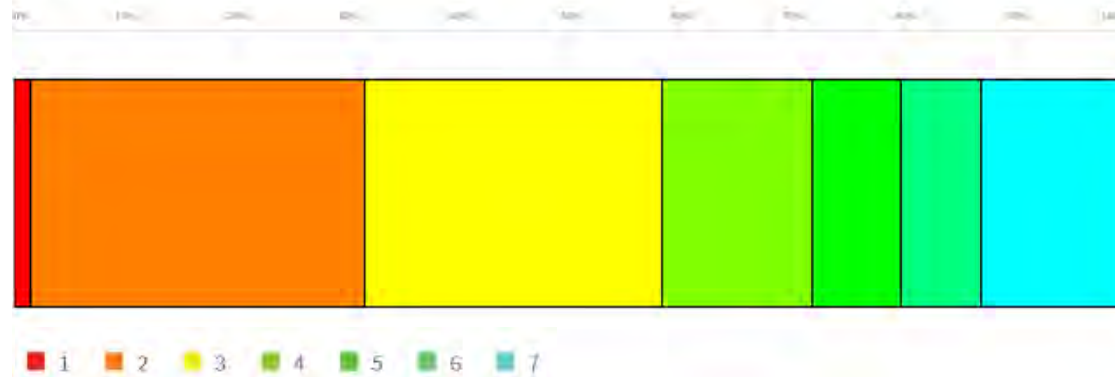
【研究科毎】 社会システム科学研究科



問27 授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間はどのくらいですか。⑥スマートフォンの使用（学習のために使用している時間は除く）

q	回答選択肢
1	0時間
2	1-5時間
3	6-10時間
4	11-15時間
5	16-20時間
6	21-30時間
7	31時間以上

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問29 奨学金制度を利用していますか。

q 回答選択肢

- 1 給付型（返済義務なし）奨学金を利用している
- 2 貸与型（返済義務あり）奨学金を利用している
- 3 給付型も貸与型も両方利用している
- 4 利用していない
- 5 利用しているかどうかわからない

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問30 学費や生活費はどのように工面していますか。(主となる財源を1つ選んでください)

- ▲ q 回答選択肢
- 1 アルバイトで賄っている
 - 2 親から支援をしてもらっている
 - 3 家族以外の親族に支援してもらっている
 - 4 奨学金を利用している
 - 5 貯金を切り崩している

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問31 勉強や学生生活で困ったときに、相談できる友人がいますか。

q	回答選択肢
1	いる
2	いないが必要だと感じている
3	いないが不要だと感じている

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問32 飲酒の頻度について、最も当てはまるものはどれですか。

Q 回答選択肢

- 1 一切飲まない
- 2 普段は飲まないがサークルや研究室などの飲み会では付き合いで飲む
- 3 月に1-2回
- 4 週に1回程度
- 5 週に2-3回
- 6 ほとんど毎日

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問33 学内関係者（教職員・サークル活動や研究室の先輩・友人）と飲酒した時に飲酒を強要されたり、強要されている場面を見かけたことがありますか。

q 回答選択肢

- 1 飲酒を強要されたことがある
- 2 飲酒を強要されている場面を見かけたことがある
- 3 強要されたこともないし見かけたこともない

全学生



■ 1 ■ 2 ■ 3

【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問34 あなたは喫煙しますか。

q 回答選択肢

- 1 喫煙しており、今後も禁煙の意思はない
- 2 喫煙しているが、禁煙の意思はある
- 3 喫煙していない（過去に喫煙していたが現在禁煙している人も含む）

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



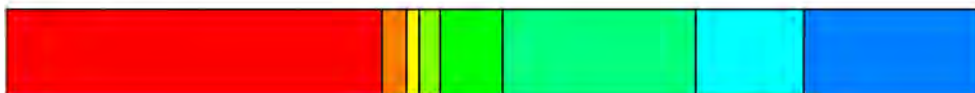
【研究科毎】 社会システム科学研究科



問36 本学では、学生生活で困った場合に相談できる場所および相談サービスがあります。知っているものを全て選んでください。（複数回答可）

▲	Q	回答選択肢
1		学生相談室
2		学生共済会「こころとからだの元気サポート」
3		学生共済会「暮らしの法律相談」
4		学生共済会「学生補償サポート（個人賠償責任補償）」
5		校医による健康相談
6		学生サポートセンター
7		学生サポーター（SA）制度
8		知らない

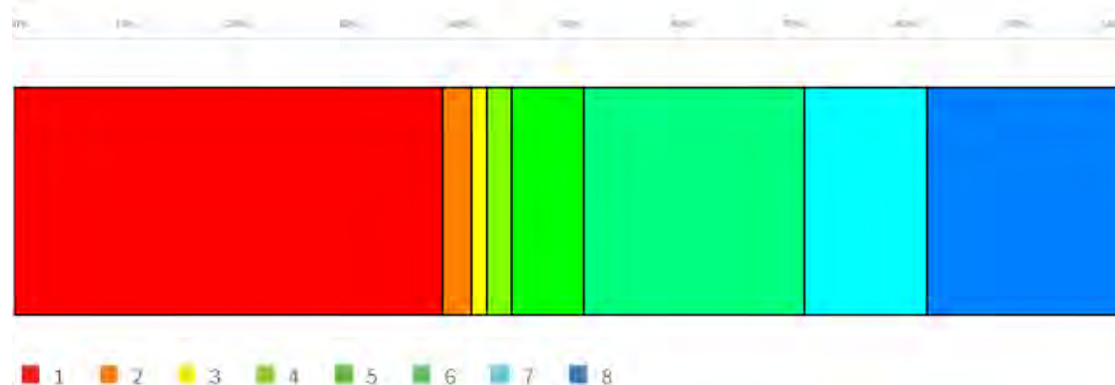
【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



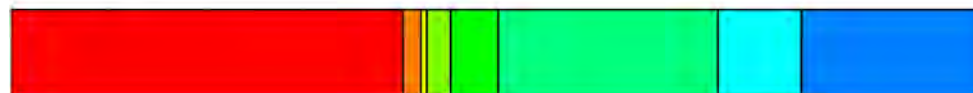
全学生



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問39 修了後の進路（企業規模等）について伺います。修了後の進路をどのように考えていますか。（博士後期課程への進学を希望する方は、博士後期課程の修了後を意識してお答えください。）

Q	回答選択肢
1	大手・上場企業への就職を考えている
2	中小企業への就職を考えている
3	外資系企業への就職を考えている
4	ベンチャー企業への就職を考えている
5	公務員・教員への就職を考えている
6	起業を考えている
7	その他

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問40 修了後の進路（業種）について伺います。修了後の進路をどのように考えていますか。

Q	回答選択肢
1	建設業
2	設備業
3	メーカー
4	IT
5	サービス業
6	公務員・教員
7	まだわからない
8	その他（記述式）

【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



全学生



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問41 大学院入学後に取得した資格・検定はありますか。

- Q 回答選択肢
- 1 自動車免許
 - 2 ITパスポート
 - 3 FP (ファイナンシャルプランナー)
 - 4 TOEICスコア450以上
 - 5 知的財産管理技能士
 - 6 英検準 2 級以上
 - 7 基本情報技術者
 - 8 色彩検定
 - 9 CAPM
 - 10 危険物取扱者

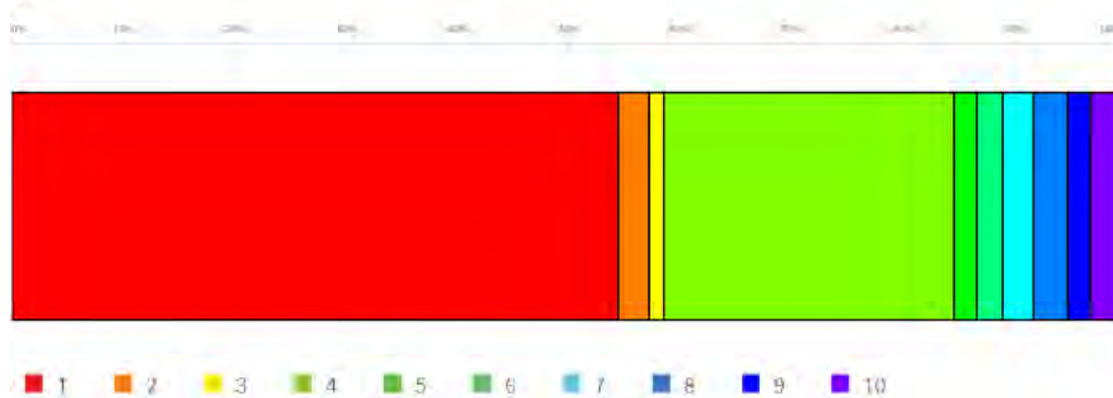
【学年毎】 修士 1 年



【学年毎】 修士 2 年



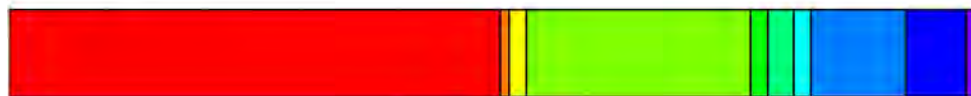
全学生



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問52 事務スタッフの対応について、どの程度満足していますか。

Q	回答選択肢
1	満足している
2	やや満足している
3	どちらともいえない
4	やや不満である
5	不満である

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問53 授業を受ける上で、教室の環境にどの程度満足していますか。

▲	q	回答選択肢
1		満足している
2		やや満足している
3		どちらともいえない
4		やや不満である
5		不満である

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問54 研究の設備や機器についての程度満足していますか。

▲	Q	回答選択肢
	1	満足している
	2	やや満足している
	3	どちらともいえない
	4	やや不満である
	5	不満である

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問55 学生食堂についてどのように感じていますか。

Q	回答選択肢
1	価格・メニュー・味ともに満足している
2	価格には満足している
3	メニューには満足している
4	味には満足している
5	価格・メニュー・味ともに不満である
6	価格が不満である
7	メニューが不満である
8	味が不満である
9	学生食堂は利用していない
10	その他

全学生



【学年毎】 修士1年



【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科



問56 購買についてどのように感じていますか。

▲	q	回答選択肢
1		価格・品揃えともに満足している
2		価格は満足している
3		品揃えは満足している
4		価格・品揃えともに不満である
5		価格が不満である
6		品揃えが不満である
7		購買は利用していない
8		その他

全学生



【学年毎】 修士1年



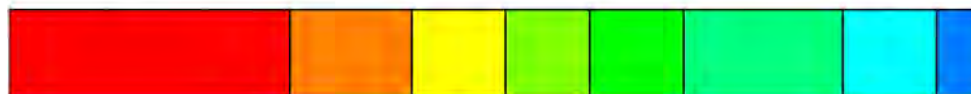
【学年毎】 修士2年



【研究科毎】 工学研究科



【研究科毎】 創造工学研究科



【研究科毎】 先進工学研究科



【研究科毎】 情報科学研究科



【研究科毎】 社会システム科学研究科

